

## 2009年に礼文島で撮影されたオオキトンボの記録

泉 佑樹<sup>1)</sup>・二橋 亮<sup>2)</sup>・杉浦直人<sup>3)</sup>

<sup>1)</sup> 〒 813-0004 福岡市東区松香台 1-10-1 (一財)九州環境管理協会

<sup>2)</sup> 〒 305-8566 茨城県つくば市東 1-1-1 産業技術総合研究所

<sup>3)</sup> 〒 860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1 熊本大学理学部

### A Photo Record of *Sympetrum uniforme* (Selys, 1883) from Rebun Island, Hokkaido, Japan in 2009

Yuuki IZUMI<sup>1)</sup>, Ryo FUTAHASHI<sup>2)</sup> and Naoto SUGIURA<sup>3)</sup>

<sup>1)</sup>Kyushu Environmental Evaluation Association, Fukuoka, 813-0004 Japan

<sup>2)</sup> Bioproduction Research Institute, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, Tsukuba, Ibaraki, 305-8566 Japan.

<sup>3)</sup>Faculty of Science, Kumamoto University, Kumamoto, 860-8555 Japan

**Abstract.** A male adult of *Sympetrum uniforme* was found on September 30, 2009 from Rebun Island, Hokkaido, Japan. This is the second record for this species from the island and is also the hitherto earliest record of observation dates in Hokkaido.

オオキトンボ *Sympetrum uniforme* (Selys, 1883) は本州・四国・九州に局所分布するトンボ科アカネ属の大型種である(尾園ら, 2021)。全国的に個体数が激減しており, 環境省のレッドデータブックでは「絶滅危惧IB類(EN)」に区分されている(環境省, 2020)。国外では朝鮮半島・中国・ロシアに分布するが, それら大陸の生息地から飛来したと思われる個体, あるいは飛来後に一時的に繁殖したと思われる個体が日本海側の地域から散発的にみつかっており, 北海道では2010年の苫前郡羽幌町(南出ら, 2011), 2013年の礼文郡礼文町(二橋ら, 2017; 二橋・杉浦, 2017), そして2018~2019年の天塩郡天塩町(南出, 2019; 木野田ら, 2019; 木野田, 2020)の計3カ所から記録されている。著者のひとり泉は, マルハナバチ類の生態調査のために礼文島を訪れた際にオオキトンボの成熟オス1頭を発見, その写真記録を残していたので,

ここに報告しておく。

撮影地点は島南部のほぼ中央を南北に縦断する礼文林道のレブンウスユキソウ群生地から礼文滝歩道入口までの1.4 kmの区間で, 初記録個体の採集地点(島北部の船泊)(二橋ら, 2017)とは異なる。



図1. 2009年9月30日に礼文林道で確認されたオオキトンボの成熟オス。

撮影日時は2009年9月30日の午前9時7分で、オオキトンボはアキアカネ *Sympetrum frequens* (Selys, 1883) やムツアカネ *Sympetrum danae* (Sulzer, 1776) のオスとともに林道脇の礫地の石に止まり日光浴の最中であった(図1)。

本報告は礼文島2例目のオオキトンボの記録となるが、これまでのところ、北海道における本種の最も古い確認年月日の記録でもある。

### 謝辞

礼文島での調査にあたり、いろいろとお世話頂いた環境省、林野庁、礼文町の関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

### 引用文献

二橋亮・杉浦直人, 2017. 礼文島におけるトンボの採集・撮影記録. 北海道トンボ研究会報, 28: 4-7.  
 二橋亮・杉浦直人・青木典司, 2017. 北海道礼文島におけるオオキトンボの初記録. *Tombo*, 59:

101.

環境省, 2020. 環境省レッドリスト2020. <http://www.env.go.jp/press/107905.html> (2021年9月16日閲覧).

木野田君公, 2020. 天塩町鏡沼における2019年のオオキトンボの記録. 北海道トンボ研究会報, 31: 4.

木野田君公・佐藤秀真・佐々木柊太郎, 2019. 天塩町鏡沼のオオキトンボの追加記録. 北海道トンボ研究会報, 30: 7.

南出安博, 2019. 2018年天塩町鏡沼におけるオオキトンボの発見. 北海道トンボ研究会報, 30: 4-6.

南出安博・山崎永尋・広瀬良宏, 2011. 北海道初記録のオオキトンボについて. 北海道トンボ研究会報, 22: 1-4.

尾園暁・川島逸郎・二橋亮, 2021. ネイチャーガイド 日本のトンボ 改訂版. 文一総合出版, 東京. 532 pp.